

両面壁で用地を有効利用

多数アンカー式補強土壁工法

京都府道改修工事

京都府の京都市伏見区と宇治市内を結ぶ向島宇治線は、宇治川の左岸堤防上を5.8kmにわたって走り抜ける府道です。

その南端の終点にあたる宇治橋西詰交差点は、同道も含め5つの府道と1つの市道の起点・終点となっている交通の要所です。しかしその交差点直近に京都方面への通勤路線であるJR奈良線の踏切を持つことが交通の流れを止めており、慢性的な渋滞発生が問題となっていました。

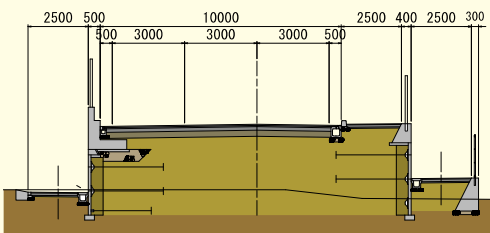
さらに、JR奈良線は一部区間のみが複線で、現在複線化の延伸工事が進められていますが、今後も踏切を利用した場合に複線化で遮断時間が増加し更なる渋滞となることが懸念されていました。

そこで府では、向島宇治線とJR線を立体交差とすることで踏切をなくし、渋滞の緩和や踏切事故の防止を図ることとなりました。



この新道路は堤防上からいったん下りてJR線をくぐる形になっているため、5m近い高低差のある勾配路となっています。もともと家屋が立ち並んでいた街区に道路を新設していることから用地確保を最小限に抑える必要があります、その観点から多数アンカー式補強土壁工法の両面壁により法面を用いない方が採られています。

多数アンカー式補強土壁は、壁面に作用する土圧と背面のアンカーブ



レート（鉄板）の引抜き抵抗力とが釣り合う形で擬似的に二重壁を形成し、内部の土を拘束・補強することによって安定的な盛土とする工法です。その「柔」な構造は耐震性にも優れており、合理的に安全性の高い擁壁の構築が可能です。

JR線工事の進捗に伴い既に踏切は廃止され、新道路も暫定開通ながら供用を開始。一定の整備効果を発揮しているようです。

工事概要

施主：京都府山城北土木事務所
 工事名：向島宇治線地方道路交付金工事
 施工：日皆田・田中千特定建設 共同企業体
 商品：多数アンカー式補強土壁工法 135m²

OFF TOPIC

プレミアリーグ

管理部 奥井 一司

私が大好きで何度も渡航してナマ観戦している海外サッカー「プレミアリーグ」についてお話ししたいと思います。サッカーはイギリス発祥のスポーツですが、イギリスは正式にはイングランド・ウェールズ・スコットランド・北アイルランドに分かれており、その中で最も有名なのがイングランドのプレミアリーグです。

チケットは観戦したいクラブのサイトで直接、五千円くらいから購入できます。ただし人気のビッグクラブは年間シート販売が始まり、また普通席もファンクラブ入会が必須なうえ何度もスタジアムに通う地元有利で、私のような海外ファンはほとんど購入することができません。それでも年間シートの購入者が行かない日のチケットを販売するサイトがあり、ここで購入するといった手段を取ることができます。

そんなチケットも年々価格が高騰しており、正規販売でも普通席が一万円近くと庶民には厳しく、パブでTV観戦するスタイルが徐々に増えてきています。そのTV観戦にしても世界的にはペイ・パー・ビューが主流になっておりその価格も高騰しているため、将来は友人宅にみんな集まってきたTV観戦が普通になっていくのかも知れません。



取扱商品

道路・盛土 多数アンカー式補強土壁工法 トリグリッドEX パラリンク フラットパネル RRR工法 EDO-EPS工法
 ダイブラハウエル管 法面・防災 多機能フィルター ミニアンカーDO PDR工法 サビレス100
 維持・管理 ARISライナー工法 SWライナー工法 RCGインナーシール工法 Tn-p工法 ローマットHDB
 鉄鋼建材 ライナープレート コルゲートパイプ 景観・環境 ロッキーステージ 斜面いりどり工法 フォトリックアート

おかげさまで創業50周年

自然公園整備で法面を保護 多機能フィルター

愛媛県西条市・東部公園

愛媛県西条市は、瀬戸内海に面し、豊かな穀倉地帯と県有数の工業地帯を抱えた人口約10万人の都市です。市では、地域の中長期的な方向性を定めた県のマスタープランと連動する都市計画を策定し、様々な環境整備を進めている途上にあります。

そうした中で、市東部の緑地帯を市民のレクリエーションの場と位置づけ、これまで多目的球場がぼつんとあるだけだった場所を、自然と触れ合うレクリエーション空間として再整備し、なおかつ災害時の緊急避難場所にもなる、より総合的なスポーツ公園とすることとなりました。

その計画策定にあたっては市民ワークショップでの意見なども取り入れ、「豊かな自然とふれあう緑の丘」をコンセプトとした自然地形を生かしたプランが取りまとめられました。これに基づいて整備される公園で法面保護材として採用されたのが、岡



降雨時には、地表面と密着したウェブ層が、雨滴の衝撃を緩和するとともに、一旦、土中に入った雨水は流速抵抗の少ないウェブ内や表面を流下し、雨水が安全に排出されることにより、土壌浸食は発生しません。



多機能フィルター施工箇所と隣地の比較

三リビックが提供する「多機能フィルター」です。

多機能フィルターは、97～98%の空隙率を持ったポリエステル製の不織布(ウェブ)。法面に張るだけで、その独特な繊維構造が雨・風・凍結や干ばつなど様々な気候から土壌を優しく守ってくれます。

表土に密着しつつ、時間降雨量100mm相当の豪雨に対しても良好な排水作用で侵食を防止し、土壌中

の養分を保護。地元の植物相の生育をロングスパンで安定的に促す環境を提供します。

工事概要

施主：西条市
 業者：株式会社ナカマル
 工事名：東部公園施設整備工事
 商 品：多機能フィルター
 SP-45 600m²
 MF-30R-0 875m²
 MF-45R-0 875m²
 MF-45R-30 260m²



調理は、肉を巻き重ねて厚みを出す手法にした。まず切落し肉と薄切り肉をタレで下味をつけておく。広げた薄切り肉に切落し肉を並べ、その上に骨を乗せて、肉を骨に巻いていく。形を整えてからさらに二層目を外側に重ねて、いい感じのポリリウムになったところでオーブンに突っ込む。焼け具合を監視しつつ待つこと約二十分。無事、年輪状の断面を持つマンガチツクな肉が出来上がった。



芯になる骨だが、出汁取り用などで売られている骨はごつくてちよっと生々しい。よほど肉を盛り付けないと骨の存在感に肉が負けてしまう感じもする。あれこれ悩んだ末に、マンガ肉専用の偽物の骨(耐熱陶器製)という有難い商品に行き当たった。長さとおさのバランスや両端形状のほどよいマンガ感がイメージにぴったりだ。

一本の大きな骨にこんもりと肉塊が付いた、いわゆる「マンガ肉」にガブつのが昔からの憧れだ。マンガ肉をメニューに出す料理店もあるが、骨の周りに挽肉を盛って固めたハンバーグであることが多い。個人的にはもう少し肉らしい歯ごたえが欲しいので、自分で作ってみることにした。

マンガ肉、作ってみた



記：編集T